

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0901	曜日時間	不定期
授業科目	母性看護学援助論Ⅰ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	妊娠・分娩・産褥各期における母性の特徴を理解し、対象に応じた看護の方法を理解する。						
中核	生命の誕生（正常な妊娠・分娩・産褥の経過）						
授業目標	1. 正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦の生理的变化・潜在的な問題を理解できる。 2. 対象と家族に対する健康の維持・潜在的な問題が生活にあたる影響と援助方法を学ぶ。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	5	I. 妊婦の看護 妊婦の生理 妊婦と胎児のアセスメント 妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント II. 産婦の看護 分娩の生理 産婦と胎児のアセスメント III. 褥婦の看護 産褥の生理 褥婦のアセスメントと看護 IV. 母乳育児と看護 母乳育児の特性 乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム IV. 新生児の看護 新生児の生理 新生児のアセスメント 新生児期のケア	講義	10			
	8	VI. 妊娠期における看護 1) 妊娠期の母性を支える看護の実際(学内演習を含む) ・妊婦健診における母体測定法 ・母親学級における妊婦の出産準備と生活指導 ・出産育児の不安についての指導場面 VII. 分娩期・産褥期における看護 1) 分娩・産褥期の母性を支える看護の実際 ・産褥婦と家族の潜在的な問題と援助（ニード・産痛の緩和） ・産褥期の身体的生理的变化（退行性変化・進行性変化）と生活に与える影響と援助 ・産褥期の心理・社会的変化と生活に与える影響と援助 ・退院にむけての支援 VIII. 新生児の看護 1) 母性を支える看護の実際 ・新生児の出生後計測と経過看護（アプガースコア・新生児計測・黄疸計測等） ・新生児の行動と母子関係評価 IX. まとめ・評価	講義 演習	20		デモンストラーション演習を含める	
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験 授業態度等						
テキスト参考図書	小林康江他編：ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版						
実務歴有							
講義への反映							
備考							